

2007年12月7日(金)開催 | 基盤教育研究分科会

やりっぱなしの研修改善



■参加後のコメント

●「やりっぱなしの研修改善分科会」を通じて、同じ課題を抱えた方々と知り合うことができ、また、多くのヒントや刺激を頂きました。アクションコミュニティでも、メンバーのみなさんからのフィードバックやアクションプランの振り返りによって、業務の見直しや活動の整理ができました。また、改めて自己開示やフィードバックの重要さと難しさを感じました。

新たなコミュニティにも参加させていただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

●私の場合、8/10にスタートし、卒業式まで約4ヶ月継続しました。その間、恥ずかしげもなく日記に自己開示しましたが、それに対して多くの方から示唆の富んだFBや励ましのFBを頂いたことが、自身の行動変容、行動定着につながりました。同じような悩みを持つ人との共感や社外の方々とこのコミュニティで触れ合うことから生じる学びや気づきが、自身を成長させたと思います。今後も何らかの形でこのコミュニティを継続できればと思います。

FBを下さった皆様、事務局の皆様、有難うございました。

●意識が高く、かつ、行動力がある方々と意見交換させていただき、自分を磨く良い機会となりました。

今後とも、皆さんとの「つながり」を大切にして前進していきたいと思います。

目を閉じて、剣玉の剣に玉を挿すことができ、鳥肌が立ちました。

テーマ	やりっぱなしの研修改善 企業事例 ～効果・成果が見える・分かる研修の創り方～
会場	株式会社ネットマン
参加者	4名
ゲスト	岩松 正治 氏 (旭硝子株式会社 品質向上推進室 CS/QMS教育企画 プロフェッショナル) 堤 宇一 人材育成マネジメント研究会 代表
ナビゲーター	永谷 研一 人材育成マネジメント研究会 理事
開催日	2007年12月7日(金)